

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と老化の理解 I Development and Aging I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
こころとからだのしくみ 認知症の理解 障害の理解				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
石川 幸子	福祉棟2階	月・火・木・金（授業時間以外）		授業中に指示します
授業の概要				
発達理論などの発達に関する内容を理解し、高齢者の加齢に伴う心身の状況の特徴に関する基礎的な知識の習得を図る。				
授業の目標				
①発達理論(発達段階、発達課題)について知識を習得できるようにする。 ②高齢者の定義について知識を習得できるようにする。 ③加齢に伴う身体的な機能の低下について知識を習得できるようにする。 ④高齢者の病気の特徴について知識を習得できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
①発達理論をもとに発達段階を表でまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 ②加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	発達と老化について学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。ガイダンス・概要説明。成長・発達の考え方			
第2回目	人間の成長と発達の基礎的知識 成長・発達の原則、成長・発達に影響する要因			
第3回目	人間の発達段階と発達課題① 発達理論、発達段階と発達課題			
第4回目	人間の発達段階と発達課題② 身体的機能の成長と発達、心理的機能の発達、社会機能の発達			
第5回目	人間の発達段階と発達課題③ 発達段階別にみた特徴的な疾病や障害			
第6回目	老年期の特徴と発達課題① 老年期の定義、老化とは			

第7回目	老年期の特徴と発達課題② 高齢者疑似体験 【演習】	
第8回目	老年期の特徴と発達課題③ 老年期の発達課題 【グループワーク】 事例を通し、高齢者の心理を理解する	
第9回目	老年期の特徴と発達課題④ 老年期をめぐる今日的課題	
第10回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活① 老化に伴う身体的な変化の特徴	
第11回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活② 老化に伴う身体機能の変化と生活への影響 【レポート課題】 提出13回目の冒頭	
第12回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活③ 老化に伴う精神・心理機能の変化	
第13回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活④ 老化に伴う精神・心理機能の変化と生活への影響	
第14回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活⑤ 老化に伴う社会機能の変化	
第15回目	老化に伴うこころとからだの変化と生活⑥ 老化に伴う社会機能の変化と日常生活への影響	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	20%	出題者の意図に合致したものとなっている。（詳細はガイダンス等で説明する）
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	授業で学んだ内容を中心に理解できたかどうかを確認する。（詳細はガイダンス等で説明する）
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：介護福祉士養成講座 第12巻 「発達と老化の理解」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：介護福祉士、職歴：通算13年） 目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。		